

インマヌエル中目黒キリスト教会
聖日礼拝2007.9.2

メッセージ

ローマ書連講45

『キリストでさえも…』

ローマ人への手紙15章1～13節

竿代照夫牧師

聖書朗読

新約聖書

ローマ人への手紙15章1～13節

1 私たち力のある者は、力のない人たちの弱さをになうべきです。自分を喜ばせるべきではありません。

2 私たちはひとりひとり、隣人を喜ばせ、その徳を高め、その人の益となるようにすべきです。

3 キリストでさえ、ご自身を喜ばせることはなさらなかったのです。むしろ、「あなたをそしる人々のそしりは、わたしの上にふりかかった。」と書いてあるとおりです。

4 昔書かれたものは、すべて私たちが教えるために書かれたのです。それは、聖書の与える忍耐と励ましによって、希望を持たせるためなのです。

5 どうか、忍耐と励ましの神が、あなたがたを、キリスト・イエスにふさわしく、互いに同じ思いを持つようにしてくださいますように。

6 それは、あなたがたが、心を一つにし、声を合わせて、私たちの主イエス・キリストの父なる神をほめたたえるためです。

7 こういうわけですから、キリストが神の栄光のために、私たちを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに受け入れなさい。

8 私は言います。キリストは、神の真理を現わすために、割礼のある者のしもべとされました。それは父祖たちに与えられた約束を保証するためであり、

9 また異邦人も、あわれみのゆえに、神をあがめるようになるためです。こう書かれているとおりです。「それゆえ、私は異邦人の中で、あなたをほめたたえ、あなたの御名をほめ歌おう。」

10 また、こうも言われています。

「異邦人よ。主の民とともに喜び。」

11 さらにまた、「すべての異邦人よ。主をほめよ。もろもろの国民よ。主をたたえよ。」

12 さらにまた、イザヤがこう言っています。「エッサイの根が起こる。異邦人を治めるために立ち上がる方である。異邦人はこの方に望みをかける。」

13 どうか、望みの神が、あなたが
たを信仰によるすべての喜びと平和
をもって満たし、聖霊の力によって
望みにあふれさせてくださいますよ
うに。

ローマ書連講45

メッセージ

ローマ書連講45

『キリストでさえも…』

ローマ人への手紙15章1～13節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「キリストでさえ、ご自身を喜ばせる
ことはなさらなかったのです。」

(ローマ15：3)

A. キリスト：自分を棄てる模範(1-6節)

1. 隣人の弱さを担うのがクリスチャン (1-2節)

- ・ 強い人＝福音の真理を把握して、自由を体験した人
- ・ 弱い人＝十分な知識を持たず、規則違反を恐れている人

- ・「隣人を喜ばせる」

＝隣人のわがままを許すことではなく、彼の徳を建て、彼の本当の益を計ること、
そのためには、自分の自由を制限することも含む

2. キリストの自己否定(3-4節)

- ・キリストの自己放棄
=禁欲ではなく、ご自分の自由や権利を、他の人の救いのために自主的に放棄なさること。そのための辱めと苦しみを受けること。

(ピリピ2:6-8、1ペテロ2:21

ヘブル12:2、詩篇69:9)

- ・旧約聖書における「忍耐」の見本
(ヨセフ、イサク)

3. 一致のための祈り（5-6節）

- ・ 「互いに同じ思いを持つ」
＝すべてに関する意見の一致ではなく、
心の通い合う一致
- ・ その源泉は、忍耐の神
- ・ その目的は神の栄光

B. キリスト：異邦人の救い主 (7-13節)

1. 異邦人とユダヤ人の相互受容 への勧め (7節)

- ・ 保守的なユダヤ人と毛色の違った異邦人が、キリストにあって互いを受け入れあうべきこと
- ・ その模範はキリスト
= 罪人を受け入れてくださった

2. キリストがユダヤ人のしもべとも なられた（8-9節 a）

- 最初のステップは、選民である
ユダヤ人への僕となられた
- そして、救いを成就し、
- その救いが異邦人に及ぼされた

3. 旧約の予言（9節b－12節）

- ・ 詩篇18:49
- ・ 申命記32:43
- ・ 詩篇117:1
- ・ イザヤ11:10

4. 喜び、平和、希望への祈り（13節）

おわりに

私達のすべての行動の基準として、
キリストはこんな場合にどうされたか、
キリストならばどう行動されるか、
を考えよう